

# 平成24年度事業報告書

## 1. 植物・植物園等に関する調査研究及び文献収集、情報交換

### 1. 海外事情調査

- 派遣先 中米（パナマ共和国およびコスタリカ共和国）
- テーマ 小さな国であるにもかかわらず、新大陸の多様な植物が集中するホットスポットが2つもあるパナマと隣国コスタリカの植物の多様性と保全状況の観察。
- 調査先 生物多様性博物館、パロ・コロラド（スミソニアンが管理する自然保護の島）自然保護区の植物調査、APROVACA 蘭センター、ランカスターガーデン、他
- 期間 平成25年1月14日～27日
- 隊員 岩科司隊長（国立科学博物館筑波実験植物園）を含む10名が参加、うち1名は公益財団法人カメイ社会教育振興財団の助成を受けて参加した。

## 2. 植物の収集及び交換

### 1. 種苗交換

会員9園から寄せられた種苗交換リストを小冊子に取りまとめ、会員に斡旋を行った。植物多様性保全拠点園事業における「絶滅危惧植物種の種苗交換」も一緒に掲載し、種苗交換とともに植物を分散して保全するための斡旋を行った。なお、「絶滅危惧植物種の種苗交換」は、種子保存拠点園である環境省新宿御苑がとりまとめを行った。

## 3. 植物多様性の保全に関する事業

《植物収集・情報収集・調査等》

### 1. 植物多様性保全拠点園事業

植物多様性保全委員会の計画に基づき、植物多様性保全拠点園（28園）を中心に保全に関する事業を推進した。おもな活動内容は以下。

- ①植物多様性保全に関する事業報告及び意見交換会（第47回大会）
- ②拠点園連絡会議（関東3回・近畿2回）
- ③絶滅危惧植物種の種苗交換（リスト提供8園）
- ④ワークショップ「植物遺伝資源の特性情報収集とナショナルコレクション構築」（於：筑波実験植物園 参加者41名）
- ⑤絶滅危惧種について、植物園における保有状況詳細調査の実施についての検討
- ⑥神代植物公園植物多様性センター情報連絡会（約40団体、80名）での事業説明と協力依頼、神奈川県植物誌調査会への協力依頼と種子採集等での協働活動。

### 2. 絶滅危惧植物の特性情報収集事業

日本産絶滅危惧植物種の生育特性情報の総覧作成を目的として、平成24年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成活動「絶滅危惧植物の特性情報の集約に向けたプラットフォーム作り」（3年計画の2年目）において以下の活動を行った。

- ①「絶滅危惧植物の情報に関するガイドライン」の修正・検討・周知
- ②絶滅危惧植物の生育特性情報データ入力（見出し2200種中の約1300件に情報追加）
- ③絶滅危惧植物の生育特性情報収集システム（希少植物データベース）の試行
- ④植物園と市民・他団体・研究者等が協働で行う現地調査（関東・和歌山・奄美）
- ⑤ニュースレター発行（3回）

⑥植物園の取り組み紹介記事（10件）の作成と公開（希少植物データベース内）

⑦大阪府立花の文化園における、普及啓発のための企画展（来園者約 4,200人）と和歌山の植物多様性に関する講演会（70名参加）

### 3. 生息域外保全モデル事業（植物）

環境省が行う「絶滅のおそれのある野生動植物種の生息域外保全植物種モデル事業を実施することで、我が国における生息域外保全の取組のあり方を提示し、今後の取組に対して示唆を与えることを目的とする事業」の一部を、一般財団法人自然環境研究センターから再委任を請け、野生復帰を視野に入れた調査研究を行った。平成 22 年度から 3 年計画の最終年。

野生絶滅種コシガヤホシクサ・モデル事業は国立科学博物館筑波実験植物園が担当した。自生地播種による野生復帰モデル事業では、熱帯・亜熱帯都市緑化植物園（対象種：キバナスゲユリ）、高知県立牧野植物園（対象種：ムカゴサイシン）、東京大学大学院理学系研究科附属植物園日光分園（対象種：コウシンソウ）が実施園として担当した。

### 4. 絶滅危惧植物保全調査

「神代植物公園植物多様性保全センター絶滅危惧植物保全調査検討委託」を東京都より受託し、東京都が選定した 118 種の優先的に保全すべき植物のうち 38 種（本土部 15 種、島しょ部 23 種）の絶滅危惧植物について、現地調査を行い、種の生育実態を把握し、保護・増殖カルテにまとめる調査を実施した。

### 5. 展示物等コンテンツ作成

東京都から「神代植物公園植物多様性保全センター展示物等コンテンツ作成委託」を受託し、一昨年に検討した神代植物公園植物多様性センターの業務運営計画に基づき、昨年に引き続いてセンター内の展示物の新規作成、パンフレット、サイン、ノベルティの作成、既存グラフィックの修正などのコンテンツ作成業務を行った。

## 《保護・育成》

### 1. ワシントン条約にかかる寄託管理事業

経済産業省との「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）」に基づいて任意放棄され、取得した、生きた植物に係る保護及び育成の寄託管理契約」に基づき、経済産業省から寄託された植物の保護育成を行った。

〔任意放棄植物の受入状況〕

平成 24 年度受入園 15 園 寄託数 162 株 24 年度末現在の保護育成管理園 26 園

|          | (受入れ数) | (枯死等数) | (保護数) | (調査年月日)       |
|----------|--------|--------|-------|---------------|
| 平成 7 年度  | 4186   | 1538   | 2648  | 8 年 3 月 31 日  |
| 平成 8 年度  | 952    | 1025   | 2575  | 9 年 3 月 31 日  |
| 平成 9 年度  | 449    | 762    | 2262  | 10 年 3 月 31 日 |
| 平成 10 年度 | 805    | 190    | 2877  | 11 年 3 月 31 日 |
| 平成 11 年度 | 930    | 431    | 3376  | 12 年 3 月 31 日 |
| 平成 12 年度 | 695    | 34     | 4037  | 13 年 3 月 31 日 |
| 平成 13 年度 | 509    | 925    | 3621  | 14 年 3 月 31 日 |
| 平成 14 年度 | 564    | 501    | 3684  | 15 年 3 月 31 日 |
| 平成 15 年度 | 1002   | 762    | 3924  | 16 年 3 月 31 日 |

|          |      |     |      |               |
|----------|------|-----|------|---------------|
| 平成 16 年度 | 511  | 684 | 3751 | 17 年 3 月 31 日 |
| 平成 17 年度 | 549  | 661 | 3639 | 18 年 3 月 31 日 |
| 平成 18 年度 | 1405 | 527 | 4517 | 19 年 3 月 31 日 |
| 平成 19 年度 | 761  | 744 | 4534 | 20 年 3 月 30 日 |
| 平成 20 年度 | 629  | 373 | 4790 | 21 年 3 月 31 日 |
| 平成 21 年度 | 598  | 422 | 4966 | 22 年 3 月 31 日 |
| 平成 22 年度 | 457  | 798 | 4625 | 23 年 3 月 31 日 |
| 平成 23 年度 | 235  | 658 | 4202 | 24 年 3 月 31 日 |
| 平成 24 年度 | 162  | 275 | 4089 | 25 年 3 月 31 日 |

《普及啓発・学習支援等》

#### 1. 植物園シンポジウム

東京大学にて、第 8 回植物園シンポジウム「気がついていましたか？ 東京の公園や街角の小さな自然」を開催した。講演 2 題と「公園や街角の小さな自然をどう守る？」と題した質疑応答・自由討論を行った。会場には全国の植物園の紹介ポスターを展示し、市民へ植物園の役割と活動について普及を図った。なお、今回は、第 47 回大会の関連企画として実施した。

日時：平成 24 年 6 月 1 日（金）

場所：東京大学弥生講堂一条ホール

テーマ：「気がついていましたか？東京の公園や街角の小さな自然」

講演：多田多恵子氏、田中肇氏

参加者：185 名

#### 2. パネル貸出

生物多様性・植物保全の普及啓発等を目的としたパネル（データ）の貸出を行い、3 件の利用があった。（浜寺公園、福岡市、大阪府立花の文化園）

#### 3. 植物園資料ライブラリ

植物の画像、教材スライド等の資料を登録・管理・利用する web システムについて、各植物園が資料を登録・検索・ダウンロードできるライブラリの整備を行った。

#### 4. 活動報告展示

新宿御苑みどりフェスタに出展し、日本植物園協会が推進する生物多様性や植物の保全についての活動報告を行った。

日時：平成 24 年 4 月 29 日

テーマ：植物園における生物多様性保全

内容：植物園で展開する保全活動と、絶滅の危機に瀕する植物の紹介

- ・パネル（7 点）と生きた植物を展示した。植物展示は新宿御苑の協力を得た。

- ・配布物（ニュースレター・チラシ・パンフレット）

ブース来場者：200 名

### 4. 研究会、講習会、展示会等の開催

#### 1. 植物研究会・技術者講習会

##### 1. 第 1 回植物研究会

開催園 東京大学大学院理学系研究科附属植物園日光分園  
期日 平成24年7月3日(火)～5日(木)  
会場 日光分園、男体山  
参加者 24名  
テーマ 「植物園を利用した保全活動」  
開催内容 研修会1：日光地域、特に男体山の植物について  
館野 正樹(東京大学附属植物園日光分園長)  
研修会2：日光地域の保全活動について  
宇賀神 知則(環境省日光自然環境事務所長)  
研修会3：コウシンソウの保全研究について  
大場 広輔(東京大学附属植物園日光分園学術支援専門職員)

## 2. 第2回植物研究会

開催園 環境省新宿御苑  
期日 平成24年11月5日(月)～6日(火)  
会場 環境省新宿御苑  
参加者 1日目：15名、2日目：17名  
テーマ 「新宿御苑における古典菊の継承」  
開催内容 ・座学、および「古典菊の人工交配実習、菊栽培施設視察」  
・東北支援・日仏文化交流事業・種子保存事業の取組紹介  
・新大温室・栽培温室等バックヤードの施設見学

## 3. 技術者講習会

開催園 伊豆シャボテン公園  
期日 平成24年9月28日(金)～29日(土)  
会場 桜美林学園 伊豆高原クラブ／伊豆シャボテン公園  
参加者 34名  
テーマ 「植物の現状より、今後の保全について考える」  
開催内容 講演会：植物保全「気候変動と多肉植物の現状」  
湯浅 浩史(元東京農業大学教授)  
講習会：サボテン保全の初歩－実生・接ぎ木・植え替え等  
施設見学会：伊豆シャボテン公園

※5月に帝京大学薬学部附属薬用植物園で開催を予定していた技術者講習会は参加者が集まらなかったため中止。

## 5. 出版等に関する事業

### 1. 「日本植物園協会誌 第47号」

平成25年3月発行。部数500部(献本数を増やしたため440部から変更)。会員へ配布、都道府県立図書館に寄贈した。

### 2. 薬草ガイドブック

日本植物園協会第四部会が作成した『薬草ガイドブック』『台所の薬草ガイドブック』の頒布事業を行い、児童生徒、学生、幅広い市民への知識向上や薬用植物を中心とした植物とその文化に関する普及啓発を行った。(頒布数：5,164部、H24増刷部数：薬草ガイドブック10,000部)

### 3. 海外事情調査隊

パナマ・コスタリカ派遣報告書を作成した。

### 4. 平成 24 年度会員名簿及び植物園概要

名簿は、25 年度の法人移行に伴い会員の対象が変わるため、社員名簿のホームページ掲載のみとして会員名簿は印刷せず、次年度 4 月に一括して発行することに変更した。植物園概要も、調査対象の見直しのため 24 年度は実施せず、次年度に取りまとめを一括して行うことに変更した。

## 6. 表彰

平成 24 年度第 47 回大会にて下記の表彰を行った。

### 1. 協会表彰

木村賞 神戸森林植物園 福本 市好

永年勤続 神奈川県立フラワーセンター大船植物園 浦島 利文

京都府立植物園 川端 徹也

2. 坂寄奨励賞 広島市植物公園 井上 尚子

「広島県のフロラの解明・絶滅危惧植物の栽培に関する研究」

東京大学大学院理学系研究科附属植物園 小牧 義輝

「小笠原諸島の絶滅危惧植物の生息域外保全に関する研究」

武田薬品株式会社京都薬用植物園 坪田 勝次

「薬用植物の栽培特性に関する研究」

京都府立植物園 平塚 健一

「熱帯植物の栽培技術の開発」

3. Aboc・CULTA 賞 国立科学博物館筑波実験植物園

「植物名ラベル情報の多角化と最新の分類体系の普及」

## 7. 会員及び関連団体との連絡提携

### 1. 国際活動

●平成 24 年 9 月 22 日～25 日にロシアのウラジオストックで開催された東アジア植物園ネットワーク (EABGN) 第 4 回会議に 3 名を派遣した。成果・結果については日本植物園協会誌第 47 号に報告した。

岩科 司 (国立科学博物館筑波実験植物園)

國府方 吾郎 (国立科学博物館筑波実験植物園)

邑田 仁 (東京大学大学院理学系研究科附属植物園)

●第 13 回国際植物園連合 (IABG) に下記 1 名が参加した。成果・結果については日本植物園協会誌第 47 号に報告した。

邑田 仁 (東京大学大学院理学系研究科附属植物園)

### 2. 後援及び協賛等

後援 (12 件)

1. 主催団体 公益財団法人花と緑の銀行

事業名 第 20 回 TOYAMA 植物フォーラム

「富山県の絶滅危惧植物—『レッドデータブックとやま』の改訂をめぐる」

2. 主催団体 IUCN ラン専門家部会日本支部

- 事業名 第5回「みんなで守ろう日本の野生ラン2012」
3. 主催団体 公益財団法人高知県牧野記念財団  
事業名 牧野富太郎 生誕150年記念展「植物学者・牧野富太郎の足跡と今」
4. 主催団体 金沢大学医薬保健学域 薬学類・創薬科学類 附属薬用植物園  
事業名 「加賀・能登の薬草シンポジウム（第13回）」
5. 主催団体 宇治市植物公園  
事業名 宇治市植物公園 展示会「植物園の日」展
6. 主催団体 財団法人海洋博覧会記念公園管理財団  
事業名 「沖縄の絶滅危惧植物展」
7. 主催団体 公益財団法人広島市みどり生きもの協会  
事業名 特別企画展「魔女のスパイス工場」
8. 主催団体 フラワー・ブラボー・コンクール実行委員会  
事業名 「平成24年度フラワー・ブラボー・コンクール（FBC）」
9. 主催団体 特定非営利活動法人のとキリシマツツジの郷  
事業名 花の新品種 in にいがた「北前船でつながる花文化～のとキリシマツツジ展～」
10. 主催団体 株式会社 夢舞台  
事業名 「淡路夢舞台ラン展2013」
11. 主催団体 沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会  
事業名 「第11回アジア太平洋蘭会議・蘭展・平成24年度沖縄国際洋蘭博覧会」
12. 主催団体 公益社団法人日本動物園水族館協会  
事業名 「いのちの博物館の実現に向けて-消えていいのか、日本の動物園・水族館-

## 8. 第47回大会行事

- 開催担当：第47回大会実行委員会
  - 会期：平成24年5月30日（水）～6月1日（金）
  - 会場：東京大学・小柴ホール、弥生講堂一条ホール
1. 記念講演
- 日時：平成24年5月30日（水）  
場所：小柴ホール  
演題：「西カリマンタン・Betung Kerihun 国立公園の植物」  
塚谷 裕一（東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻）
2. 研究発表
- 日時：平成24年5月31日（木）  
場所：小柴ホール  
内容：口頭発表6題、ポスター発表12題、特別発表2題「キタダケソウ」
3. 植物園研修
- 日時：平成24年6月1日（金）  
場所：小石川植物園、神代植物公園、新宿御苑、夢の島熱帯植物館、  
星薬科大学薬用植物園
4. 公開シンポジウム（第8回植物園シンポジウム）
- 日時：平成24年6月1日（金）

場所：東京大学弥生講堂一条ホール

タイトル：「気がついていましたか？東京の公園や街角の小さな自然」

## 9. その他目的の達成に必要な事業

### 1. 「植物園の日」事業

日本植物園協会では、平成19年度より5月4日「みどりの日」を「植物園の日」と定め、継続して植物園活動を社会に広めていく方針とした。広報資材（ノボリ）を配布し、協会ホームページの投稿欄に関連行事案内を掲載した。

また、植物多様性保全に貢献するため、絶滅危惧植物の普及啓発に用いるマークを会員から応募（55点）されたものから選定し、活用方法の紹介を行い、シール約18,000枚を正会員に配布して活用を促した。

### 2. ホームページ活用及び広報活動

- ・情報公開、各事業の告知・報告のため協会ホームページ更新を行った。
- ・2011年から引き続き、NTTグループのコンテンツサービス「みんなの花図鑑」へ協力した。

### 3. 分野別活動

※「部会」と称していたが、当協会内に別組織が存在するような誤解を避けるため、公益法人移行申請の際に名称を検討し、「分野」と改めることにした。

第1回目は第47回大会総会時に行い、秋以降に各開催担当園が開催した。

#### 1. 第48回国立大学植物園長・拡大施設長会議（第一分野）

- ① 開催園 東北大学植物園
- ② 期 日 平成24年9月18日～19日
- ③ 開催場所 東北大学学術資源研究公開センター植物園
- ④ 出席者 14名
- ⑤ 議題
  - ・各植物園の現況報告
  - ・ABS問題に関する要望書について
  - ・絶滅危惧種の現地外保全に関するプロジェクトの研究費申請について

#### 2. 第30回国立植物園運営会議（第二分野）

- ① 開催園 広島市植物公園
- ② 期 日 平成24年10月25日～26日
- ③ 開催場所 広島サンプラザ
- ④ 出席者 24名
- ⑤ 議題
  - ・集客力アップのための効果的な方法について
  - ・各園の閑散期対策について
  - ・各施設におけるボランティアの活動との関わり方について
  - ・第二部会のあり方について

#### 3. 私立植物園会議（第三分野）

- ① 開催園 株式会社千秋社清水公園
- ② 期 日 平成24年11月8日～9日
- ③ 開催場所 ホテル グランボア
- ④ 出席者 4名
- ⑤ 議題
  - ・各園近況報告

- ・第三部会の取り組み、課題について
- ・第三部会及び技術者講習会の開催園について

#### 4. 薬用植物園会議（第四分野）

- ① 開催園 日本大学薬学部薬用植物園
- ② 期 日 平成 24 年 9 月 16 日
- ③ 開催場所 かずさアカデミアホール
- ④ 出席者 16 名
- ⑤ 議題
  - ・公益法人化と第四部会の名称について
  - ・平成 25、26 年度技術者講習会・研究会と部会会議の担当園について
  - ・植物の多様性保全活動への対応などについて
  - ・薬草ガイドブックについて

#### 4. 日本植物園協会 50 周年記念事業

50 周年記念事業に関しての実行委員会を組織し、委員のほか関係者を集め、平成 24 年 7 月 10 日に京都府立植物園で準備会議を行った。

#### 5. 諸会議

##### 1. 第 47 回通常総会

日時 平成 24 年 5 月 30 日（水）

会場 東京大学・小柴ホール（文京区本郷）

##### 2. 役員会等

評議員会 平成 24 年 5 月 30 日

第 1 回理事会 平成 24 年 5 月 30 日

第 2 回理事会 平成 24 年 5 月 31 日

第 3 回理事会 平成 24 年 8 月 2 日

第 4 回理事会 平成 25 年 3 月 12 日

##### 3. 専門委員会

###### (1) 総務委員会

第 1 回委員会：平成 24 年 5 月 29 日

議題：平成 24 年度協会役員人事、入会金の減額、自然災害に起因する会費免除について、平成 24 年度大 47 回大会について、公益法人化について、50 周年記念事業の体制、東日本大震災の対応（折り鶴プロジェクト）の今後、事務局体制、その他

第 2 回委員会：平成 24 年 12 月 5 日

議題：今年度事業の進捗（委員会報告）、協会財務状況や体制の検討結果報告、第 48 回大会について、法人移行に伴う事務手続きやその他必要な検討事項、25 年度事業について、その他

第 3 回委員会：平成 25 年 2 月 13 日

議題：平成 24 年度事業計画並びに予算の一部変更について、平成 24 年度事業報告（案）並びに決算見込み、平成 25 年度事業計画並びに収支予算（案）、第 48 回大会、平成 25 年度表彰について、公益法人移行に伴う諸規程、その他

###### (2) 研究発表委員会

第 1 回委員会：平成 24 年 8 月 28 日



議題：新体制での研究発表委員会の活動および協会誌の編集/刊行について

第2回委員会：平成24年12月17日 議題：協会誌47号の編集について

・日本植物園協会誌第47号を制作した。第48回大会における研究発表会の開催案についての検討と決定をメール会議で行った。

(3) 植物多様性保全委員会

第1回委員会：平成24年6月29日

議題：地球環境基金助成活動の推進について

第2回委員会：平成24年12月12日

議題：保有状況詳細調査の計画と実施方法の検討

第3回委員会：平成25年3月25日

議題：拠点園ネットワーク事業の報告と計画、絶滅危惧植物の保有状況調査の進め方、絶滅危惧植物の特性情報の集約の進め方、「絶滅危惧植物の情報等に関するガイドライン」について、環境省モデル事業の後継課題について、ナショナルコレクション構築について、第48回大会での報告と意見交換会について、その他

(4) 国際交流推進委員会

・平成24年度海外事業調査（パナマ・コスタリカ）を実施した。次年度計画についてメール会議で検討し、「台湾」に決定した。

(5) 坂寄奨励賞選考委員会

・平成25年度を受賞者を選考・決定した。

(6) 植物園シンポジウム企画委員会

・平成24年度第8回植物園シンポジウムの企画運営を行った。

(7) 新法人化委員会

第1回委員会：平成24年4月20日

議題：新定款の修正案について・事業計画等について

・公益法人移行認定の申請および諸規程の整備等を行った。

(8) ホームページ委員会

・協会ホームページの更新と公益社団法人移行後の変更のための準備。

(9) 50周年記念事業委員会

第1回委員会：平成24年7月10日

議題：50周年記念事業立案について、その他

(10) Aboc・CULTA賞選考委員会

・平成25年度を受賞者を検討・選考した。

## 特記事項

・文部科学省生涯学習政策局による平成24年度社会教育功労者として、当協会が推薦した鈴木三男氏（元会長、名誉会員）が表彰された。